

日本鐵鋼協會記事

◎特別委員會

大正五年三月六日午後五時より工學會樓上に於て本邦製鐵事業の振興に關する第八項研究の特別委員會を開く、出席者左の如し

野呂景義 俵國一 島安次郎
堤正義 塚本小四郎

◎編輯會

大正五年三月八日午後五時より工學會樓上に於て編輯會を開き會誌第二年第三號原稿を選定す、出席者左の如し。

野呂景義 今泉嘉一郎 俵國一
香村小録 寺野精一 井上克巳
石黒豊 湊一磨 關口八重吉

當日理事協議の上左の事項を決議す。

編輯委員河村驥氏辭任申出ありたる所事情餘儀無きに付き之を承認する事

大正五年三月二十五日東京驛内ステーションホテルに於て本會第一年總會を開く事

◎會務

自大正五年二月二十一日
至大正五年三月二十日

會誌交換 南滿洲鐵道會社東亞經濟調查局の申出に係る同局發行『經濟資料』と本會々誌と交換の件應諾せり

入退會者 本期間に入退會を承認せるもの左の如し

入會者 正會員 菰田成亮 松本壽

水上齊 村上英信

永田清一郎 西尾銈次郎

上野景明 尾藤加勢士

王正黼

准會員 岡田彦槌 渡邊友彦

小屋原惣太郎 金澤鶴雄

南部謙吉 井口庄之助

山田賀一 黒田光太郎

藤村哲三 手島哲夫

白田辰麿 岩田又百

中黒義郎 藤井壽八

松浦春吉 宇津信義

淺原源七 伊藤清造

大口章次 齋藤正平

糟谷宗吉 大刀川平治

正會員より准會員に轉入

久保萬原 俊成

退會者 准會員 林 此右衛門 鳥越 芳雄

川野 正喜 上田 茂左衛門

粟谷 久 山崎次 太郎

安並 敏男 湯淺 十一郎

宮岡 延一

入會者職業及住所

東京府荏原郡平塚村鐵道院官舎 鐵道院技師(正) 蒺田 成亮

東京市赤坂區新坂町二三 鐵道院技師(正) 松本 壽

東京市牛込區矢來町三、舊殿五〇號 東亞通商會社員(正) 水上 齊

東京市麻布區筭町一八〇 東亞通商會社員(正) 村上 英信

東京市京橋區月島東仲通六ノ七 株式會社シャリリ(正) 永田清一郎

東京市本郷區千駄木町五〇 工學士(正) 西尾 銈次郎

東京市麻布區本村町四三 早稻田大學講師工學士(正) 上野 景明

南滿洲本溪湖煤鐵公司 陸軍砲兵中尉工學士(正) 尾藤 加勢士

福岡縣八幡町高見町官舎 同所製鐵部技師(正) 王 正 輔

福岡縣八幡町高見町官舎 製鐵所書記(准) 岡田 彦植

福岡縣八幡町製鐵所前田官舎 製鐵所書記(准) 渡邊 友彦

福岡縣八幡町高見町官舎 製鐵所工手(准) 小屋原 惣太郎

福岡縣八幡町高見町官舎 八幡製鐵所雇(准) 金澤 鶴雜

京都市京都帝國大學採鐵冶金學教室 八幡製鐵所書記(准) 南部 謙吉

同前 學生(准) 井口 庄之助

同前 學生(准) 山田 賀一

同前 學生(准) 黑田 光太郎

朝鮮黃海道載寧鐵山 學生(准) 藤村 哲三

朝鮮黃海道載寧鐵山 西崎鑛業所職員(准) 手島 哲夫

關東州大連市外沙河川滿鐵工場 西崎鑛業所職員(准) 白田 辰麿

岡山縣小田郡宇戶村 滿鐵會社員(准) 岩田 又百

大阪府西區靱通五丁目大阪製鐵會社 同會社員(准) 藤井 壽八

新潟市山下新瀧鐵工所 新瀧鐵工所技師(准) 松浦 春吉

支那湖北省大冶鐵山 製鐵所出張所員(准) 宇津 信義

東京府北豐島郡瀧野川村町字田端四九三 大學院理科學生(准) 淺原 源七

福岡縣八幡町製鐵所分析科 八幡製鐵所檢査手(准) 伊藤 清造

東京市芝區芝公園十一號ノ八 東京府技師(准) 大口 章次

東京府豐多摩郡代々幡村大字代々木字山谷一四一 齋藤 正平

大阪府外天王寺村常盤通停留場北半町西側大阪鐵工所員(准) 糟谷 宗吉

東京市牛込區藥王寺町八〇 猪苗代水力電氣會社技師(准) 大刀川 平治

轉居 新住所左の如し

芝區白金志田町七四 (正) 井口 常次郎

佐賀縣佐賀郡高木瀨村字長瀨九一 (准) 池田 健六

本郷區森川町逸見館内 (准) 濱田 清七

兵庫縣武庫郡住吉一三六 (正) 堀田 正一

大阪府東區半入町三七七 (准) 紅谷 藤次郎

大阪府東區北濱五丁目住友總本店 (准) 太田 外世雄

福岡縣八幡町製鐵所製鋼部 (正) 野上 熊二

京橋區南鞘町二九(電京橋三六四六) (正) 近藤 高

埼玉縣北足立郡大宮町鐵道院官舎二號 (准) 鈴木 文衛